福島県・高湯温泉

## 旅館玉子湯

# 乳白色の天然硫黄泉

古くは奥州三高湯に数えられる、福島県・高湯温泉。それを代表するのが旅館玉子湯（後藤省一社長）だ。多量に湧き出す乳白色のお湯は、一切の加水、加温、消毒を行わない源泉かけ流しの硫黄泉。東北屈指の薬湯と評される実証事業に取り組んだ。定期的な入浴前後の体温、血圧、採血による検査を行ったところ、基礎体温の上昇、血圧の正常値範囲内への改善、活性酸素の濃度の低減が見られ、病気を未然に防ぐ効果が期待できる結果となった。

広々とした庭園には、趣のある茅葺きの湯小屋「玉子湯」が150年前の創業当時と変わらぬ姿で湯浴み客を迎える。湯小屋からさらに歩くと、女性専用の露天風呂、二つの野天岩風呂、足湯が点在する。春から夏は輝く緑、秋は紅葉、冬は降り積もる雪を楽しみながら思う存分、湯めぐりを楽しみたい。

▽福島県福島市町庭坂字高湯7。☎024（591）1171。http://www.tamagoyu.net/

湯小屋「玉子湯」の湯船

栃木県・鬼怒川温泉

## あさや

# 展望抜群の空中庭園露天風呂

栃木県・鬼怒川温泉の老舗旅館、あさや（八木澤哲男社長）は、自家源泉「子宝の湯」を所有し、豊富な湯をたたえた多彩な風呂が人気だ。

湯はアルカリ性単純温泉で肌触りが良い。さまざまな風呂が、吹き抜けロビーが華やかな「秀峰館」、和の情緒が漂う「八番館」に設置されている。

秀峰館の13階、展望抜群の空中庭園露天風呂は川面から約80㍍という、鬼怒川で最も高い場所に位置する。鬼怒川ライン下りで使用する舟の浴槽に加え、山々を眺めながら入浴できる立ち湯、空を見上げる寝湯など、9種の湯船を楽しめる。

秀峰館に男性用大浴場「麻の湯」、女性用大浴場「紅葉の湯」、貸切風呂「打ち出の小槌の湯」がある。八番館には「滝の湯」があり、男女それぞれの大浴場に露天風呂、座湯がある。女性客にはナノミスト サウナやシルキー風呂がおすすめ。

客室数は192室。スタンダードな和室や洋室、露天風呂付き客室など、好みで選べる多様な客室を用意している。今年7月には秀峰館の最上階に眺望風呂付和洋室「雅」が誕生。随所に配した地元栃木の「鹿沼組子」が和の空間を引き立てる、上品で優雅な和洋室となっている。

空中庭園露天風呂

多彩な料理が並ぶブッフェ

食事はブッフェが人気。旬の素材を和洋中100種以上の料理で提供。オープンキッチンでは目の前で天ぷら、ステーキなどを調理する。今年2月に新設されたピザ窯では、焼き立ての石窯ピッツァを提供している。デザートコーナーも充実。プランによって部屋や個室、ダイニングでの会席料理を選ぶこともできる。

館内施設では、オリジナルカクテルなどが味わえるバー「ザ・バー」、地酒や焼酎が楽しめる和モダンな雰囲気の居酒屋「きぬの蔵」も好評。

大好評の「あさや特製和牛カレー」も発売中。ブッフェではオリジナルが味わえる。

▽あさやは栃木県日光市鬼怒川温泉滝813。☎0288（77）1111。http://www.asaya-hotel.co.jp/

福島県・岳温泉

## 陽日の郷あづま館

# 源泉掛け流しの酸性泉

福島県あだたら高原、達太良山火口近くから湧き出る源泉を引き、掛け流しで利用している。湯は全国でも珍しいPH2・48の酸性泉。広々とした大浴場、開放的な露天風呂で味わうことができる。

源泉は標高1450㍍地点にある自然湧出の16カ所のうちの一つ。それを8㌔という長大な1本の管で引湯している。強い酸性泉は長い管の中でもまれてマイルドになり、入浴後のさらっとした肌触りは他の温泉では体感できない爽快感があるという。

大浴場「俳句の湯」は、昭和の俳人、宇田零雨が詠んだ俳句の句碑やレリーフがある。源泉掛け流しの湯に浸りながら一句詠むのもまた一興だ。

露天風呂は総ひのき造りと一枚岩をくり抜いた浴槽の「月見風呂」「花見風呂」がある。あだたらの澄み切った空を眺めながら癒やしのひと時を楽しめる。

▽福島県二本松市岳温泉1の5。☎0243（24）2211。http://www.azumakan.com/

開放的な露天風呂

岩手県・鷲宿温泉

## 長栄館

# 100%の源泉掛け流し温泉

岩手県盛岡市の奥座敷、鷲宿温泉にある長栄館（照井貴博社長）は、自然の懐に抱かれた隠れ宿の雰囲気を持つ旅館だ。

岩手有数の観光施設、小岩井農場やつなぎ温泉に近く、田沢湖や秋田・角館などへの観光にとても便利な場所にある。日本旅館の伝統を重んじ、宿の原点である「宿心」で宿泊客をもてなす。

国内の温泉でも約1%しか存在しないといわれる、一滴の水も混ぜていない100%の源泉かけ流しの天然温泉が自慢。湧出量は毎分千㍑という豊富さを誇る。鷲宿温泉で専用自家源泉を持つのは長栄館だけだ。

源泉をろ過しないためぐ。早く目覚めた人はぜ湯殿には湯の花が浮かんでおり、新鮮な湯を溢れるまに堪能できるのは何とも贅沢。PH8・3の弱アルカリ性単純硫化水素泉で湯上りの肌はとても滑らかな感触になり、「美肌の湯」として女性客に好まれている。

長栄館では、深夜零時から男女ともに全ての浴槽のお湯を抜き、2時間かけて湯船の清掃を行う。そして早朝5時半からの入浴に合わせ、3時間かけて新しいお湯を注ぐ。早く目覚めた人はぜひ入浴を。天然温泉の素晴らしさが改めて実感できる。

また、鷲宿川のせせらぎを聞きながら入る露天風呂もおすすめ。女性露天風呂は男風呂よりも大きく仕上がっている。四季折々で表情を変える鷲宿川の自然を露天風呂から眺めるのもまた格別。

温泉に入った後は長栄館自慢の夕食が待っている。岩手の旬の食材を丹精込めて調理した、全て手づくりの和食膳。「極上の湯を楽しんだ後は本当においしい食事を、ゆっくり噛みながら味わってほしい」という料理長の思いが一皿一皿に込められている。朝食はバイキングでなく、和の膳でゆっくりと味わえるのも魅力だ。

▽岩手県岩手郡雫石町鷲宿6の7。☎0195（695）2121。http://www.choeikan.com

女性露天風呂

長栄館の外観

神奈川県・箱根湯本温泉

## ホテル河鹿荘

# 湯量豊富な名湯を満喫

9本の自家源泉を持ち、豊富な湯量を誇る神奈川県箱根湯本温泉のホテル河鹿荘（井島誠行社長）。展望抜群の「清流の湯」と川のせせらぎを感じる「早雲の湯」、二つの大浴場が好評だ。

清流の湯は6階の展望露天風呂。木目が美しいウッドテラスに4タイプの露天風呂を備えた「ほしみ四湯」や檜でできた樽型の「はなみの湯」などがある。2階の早雲の湯は、岩と檜の二つの露天風呂と内湯。内湯は幅が18㍍と広々とし、窓が大きくて明るい。

清流の湯と早雲の湯は男女入れ替え制で、1泊2日の滞在でも朝湯に入れば両方を堪能できる。

67の客室のうち15室が露天風呂付き。毎月献立を変える料理も自慢で、相模湾の旬の魚介を中心に逸品がそろう。自然豊かな立地だが、東京から新幹線で60分と交通の利便性もよい。

▽神奈川県足柄下郡箱根町湯本688。☎0460（85）5561。http://www.kajikaso.co.jp/

露天風呂を備えた「清流の湯」

宮城県・秋保温泉

## ホテルきよ水

# 名取川の清流を望む

奥州三名湯の一つ、宮城県・秋保温泉にあるホテルきよ水（山口千穂子社長）。豊かな山の自然に囲まれ、近くに他の宿泊施設もないため、一軒宿のような静けさ。宿泊客に「心から休めたと思える時間」を過ごしてもらうために、「料理人の心」「おもてなしの心」という三つの心を大切にしている。

熟練の料理人が、厳選した東北の山海の幸を使い、こだわりの品を一つ一つ心を込めて調理する。夕食は会席膳、朝食は和食膳を提供。食べておいしく、健康にも配慮した献立だ。バイキングとは一味違う旬の味覚を堪能できる。

フロント係、接客係をはじめとするすべての従業員は、おもてなしの心を持って対応する。やっと帰りついた我が家のような温かさで接するよう日々努めている。

遊びの心は、宿泊客に館内でゆっくりと寛いでもらうための仕掛け。その一つは客室で、レギュラータイプの和室はすべて13畳以上と広い。もう一つが、同館が誇る浴場施設だ。

本館にある大浴殿（内風呂）と露天風呂からは名取川の清流が望める。温泉の各種効果とあわせ、心身ともにリラックスできる。

離れの客室「山水庵」「楽々」「清風」には内風呂、露天風呂を設置。名取川がより近くに見え、絶景を独り占めできる。

別館の内風呂、露天風呂は森側にあり、新緑、紅葉も楽しめる。内風呂は男女それぞれで趣が異なり、男性用は岩風呂、女性用は檜をメインとした造り。一方、露天風呂は男女ともに洞窟風の風呂となっている。

さらに、三つの貸切風呂（家族風呂）も設けられている。宿泊客は無料で利用でき、時間や回数の制限もなく、ゆっくり入浴できる。

▽宮城県仙台市太白区秋保町湯元字平倉1番地。☎022（397）2555。https://www.kiyo-mizu.jp/miryoku/

眼下には清流「名取川」を望む離れ「山水庵」の内風呂

別館にある洞窟風の露天風呂「せせらぎ」

新潟県・越後湯沢温泉

## ホテル双葉

# 種類豊富な「28（ふたば）」の湯

越後湯沢温泉の中でもひときわ高い丘の上に建つ「ホテル双葉」（小林庄一社長）。最大の魅力はなんといっても風呂だ。温泉施設は名付けて「二十八（ふたば）の湯」。「ばばらく」「ままらく」「山の湯」「里の湯」の4カ所の大浴場があり、その中で28の湯巡りができることからこの名が付いた。薬草三昧の風呂や深さが1㍍10㌢の「びっくり立ち湯」など、個性豊かな浴槽がそろう。客室78室のうち29室が露天風呂付きというぜいたくさも魅力。

地域の伝統織物文化を継承する宿として昨夏、魚沼の織物をテーマとした新客室「おぢや」「とおかまち」「しおざわ」をオープン。中には先代女将着用の着物も再生活用している。

リニューアルした食事処「万葉茶屋」に食事処「万葉の小径」、個室ダイニング「花暦」と合わせプライベート空間も展開し、料理長こだわりの料理を提供する。

▽新潟県南魚沼郡湯沢町大字湯沢419。☎025（784）33357。http://www.hotel-futaba.com/


展望大浴場

福島県・土湯温泉

## 風望天流　太子の湯　山水荘

# 滝を眺める展望大浴場

福島市内から車で約30分、豊かな自然に囲まれた土湯温泉は聖徳太子の伝説が残る、歴史ある温泉地だ。山水荘（渡辺和裕社長）はその土湯温泉を代表する旅館で、隣には一級河川に指定され、日本一の清流にも数えられている荒川が流れており、この川が作り出した景勝が四季折々で違った顔を覗かせる。

山水荘は荒川と二段の滝を眺める展望大浴場や野湯、「太子の湯」、5カ所の貸切風呂などを持つ温泉三昧の宿で、宿泊客の心と体を癒す。

6階の展望大浴場「瀧の湯」からは、荒川とそれを取り巻く雄大な景勝を大パノラマで、湯船に浸かりながら存分に味わうことができる。また、もう一つの展望大浴場「淵の湯」は旅館で2階建ての造りになっており、浅湯、深湯のさまざまな湯船を楽しむことができる。

瀧の湯と淵の湯は日替わりの男女交代制で、宿泊客は前日とは異なる趣の風呂を楽しめる。

3階には聖徳太子の名を冠した露天風呂、太子の湯がある。山水荘の象徴的な存在だ。荒川二段の滝が圧倒的な水量で流れ落ちる様はまさに絶景。自然のマイナスイオンと開放感に浸れる源泉かけ流しの露天風呂はぜひ堪能したい。今では珍しい男女混浴制をとっているが、女性専用の時間（午後7～11時）も設けているのがうれしい。

カップルや家族連れにお勧めなのが貸切風呂だ。半露天の「石の湯」「樽の湯」、内湯の「かわせみ」「おしどり」、そして露天の「星天の湯」があり、60分で1080円（税込み）と手ごろな料金で利用できる。贅沢な時間を恋人や家族ともに過ごしたい方にお勧めだ。

原発事故の影響もほとんどない。未曽有の大震災にも負けずに、今なお慕われる山水荘の温泉で心身ともにほっこりとなってほしい。

▽福島県福島市土湯温泉町字油畑55。☎024（595）2141。http://www.sansuiso.jp/

展望大浴場「瀧の湯」

太子の湯